



2019年5月21日

各 位

会 社 名 株式会社 K e y H o l d e r  
代 表 者 名 代表取締役社長 明 珍 徹  
(証券コード番号 4 7 1 2 ・ JASDAQ)  
問い合わせ先 取 締 役 大 出 悠 史  
電 話 番 号 0 3 - 5 8 4 3 - 8 8 8 8

### 当社連結子会社間の吸収合併に関するお知らせ

当社の連結子会社であるフーリンラージ株式会社（以下「フーリンラージ」という。）と、株式会社Key Production（以下「KP」という。）は、本日開催されたそれぞれの取締役会において、2019年5月23日（木）に開催予定の当社取締役会における決議を条件として、フーリンラージを吸収合併存続会社、KPを吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」という。）を行う旨の吸収合併契約を締結することを決議するとともに、本日付けで当該吸収合併契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本合併は連結子会社間における吸収合併であるため、開示事項・内容の一部を省略して開示しております。

### 記

#### 1. 合併の理由

フーリンラージは、「有吉のお金発見 突撃！カネオくん（NHK）」や「でんじろうの THE 実験（フジテレビ）」などのバラエティ番組を中心とするテレビ番組制作のほか、2019年7月から全国公開を控える「こはく」などの映画制作、アーティストのミュージックビデオの制作や、近年では生命保険会社等のテレビCMならびにウェブCMを制作するなど、様々なプラットフォームに応じた実績を有する、テレビ番組・映像制作事業を展開する会社です。

そしてKPは、テレビ業界の最前線で活躍するスタッフを抱え、ドキュメンタリーやスポーツのほか、バラエティでは「マツコの知らない世界（TBS）」や「林修の今でしょ！講座（テレビ朝日）」等、幅広い制作実績を有する、テレビ番組制作事業を展開する会社です。

当社は、2018年5月24日付け「連結子会社（株式会社Key Production）による吸収分割契約の締結に関するお知らせ」及び2019年3月15日付け「（経過事項）フーリンラージ株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」のとおり、前期より総合エンターテインメント事業におけるテレビ番組制作部門を立ち上げ、さらに事業規模の拡大に向けた展開を図ってまいりましたが、今後の業務遂行にあたり、人材やノウハウなど各種リソースの最適配分や共有による、効率化及び収益力の強化を目的に、本合併を行うものであります。

## 2. 合併の要旨

### (1) 合併の日程

(1) 取締役会決議日 (当事会社)	2019年5月21日(火)
(2) 合併契約締結日	2019年5月21日(火)
(3) 取締役会決議日 (当社)	2019年5月23日(木) (予定)
(4) 合併の効力発生日	2019年8月1日(月) (予定)

### (2) 合併の方式

フーリンラージを存続会社とする吸収合併方式とし、K Pは解散いたします。

### (3) 合併に係る割当の内容

本合併は当社の連結子会社間で行われるため、本合併による株式、金銭その他の財産の交付はありません。

### (4) 合併に伴う消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

### (5) その他付則事項

本件開示翌日の5月22日付けで、本件に係る合併公告が出る予定でありますが、当該公告におきましては「フーリンラージを吸収合併存続会社、K Pを吸収合併消滅会社とする吸収合併」とするべきところ、「K Pを吸収合併存続会社、フーリンラージを吸収合併消滅会社とする吸収合併」と誤った記載がなされており、本件につきましては早急に取消公告により対応する予定であります。

## 3. 合併当事会社の概要

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
(1) 名称	フーリンラージ株式会社	株式会社Key Product ion
(2) 所在地	東京都渋谷区神宮前6-33-14	東京都港区虎ノ門1-7-12
(3) 代表者の 役職・氏名	代表取締役社長 森田 篤	代表取締役社長 畑地 茂
(4) 事業内容	テレビ番組制作事業 テレビドラマや映画・CM・MV など各種映像制作事業 等	テレビ番組制作事業
(5) 資本金	20,000,000円	100,000,000円

(6) 設 立 年 月 日	2008年9月3日	2018年4月18日
(7) 発 行 済 株 式 数	200株	2,000株
(8) 決 算 期	3月	3月
(9) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	株式会社K e y H o l d e r (100%)	株式会社K e y H o l d e r (100%)

4. 今後の見通し

本件合併は、当社の連結子会社間の合併であるため、連結業績に与える影響は軽微であります。

以上